

大切なせせ球と未来を 守るためにわたくしたちができること

容器、トレイは何かでできているのかな?
身近なゴミ問題について考えよう。

よう!

2
シンパシー
ワークショップ

2019年10月29日(火)

「川の生き物」や「人間」、「動物」など様々な気持ちはなにがな?

「人間」「川の生き物」に変身して、その動物が食べている「食べ物」を取っていくカードゲームをしました。「人間」と「動物」ではちがうルールで進みます。「人間」は「動物」よりもたくさんのかードを取れます。「人間」が「昔の生活」から「今の生活」に変わると、「人間」は好き勝手に川にあるカードを取っていけます。さらに「ブラックカード」を「食べ物カード」のなかに置いていくことができ、このカードをもじった動物は死んでしまいます。どうすればいいのかな?



月9日(火)

ゲーム

の中に開店したスーパーでカレーライスの材料と飲み物を買う、お買い物
ん残ったグループの順位をつけけれど、材料が入っていた容器や包装を
、処理するときに二酸化炭素が発生することを知りました。地域の資源で
まういう話を聞いて、「自分たちでできることは何だろう?」「ゴミを
う?」とゴミを少なくする工夫を考え、発表しました。



環境のことがよくわかりました
た。たくさんサイクルした
いです。ペットボトルやパック
などを捨てないようにしたい
と思います。家庭にも教えて
あげて、ものを大切に使おう
と思います。



ゲームが楽しかったし、環境の勉強になりました。今日学んだことは
子どもだからできる事があることが分かりました。地球温暖化は
どんどん進んでいるので、いつか涼くなったりしないなと思いま
した。ぼくたちがゴミと思うものが、動物には違つて見えたり、人
間だけがゴミだと思うことが分かりました。

とても楽しかったけど、魚の絶滅危惧種がいるのはかなしいと思った。
あと、人がもう食べられないに思ったものも、魚はそれを食べ物こ
思つてることを知つておかないといけないと思った。川にいろんな
ものを捨てるはいけないにども分かりました。これからも自然のこと
を忘れず気に付けてください。

川の魚のことを使ってブラックカードは何か考えます。
川にゴミをふやさないようにがんばります。もつともっと
地球のこと知りたくなりました。

動物によつて食べられる(取ることができる)
カードが限られます。



私たちも、毎回の生活で 「エコ」ってできるんだ!

アイシン環境学習プログラム

豊川市立千両小学校4年生 エコトークセッション

エコがたくさんあることに気づきました。
エコアクションを続けたいみたいです。



2020年1月28日(火)

千両小学校4年生25名は、
川とわたしたちの生活が大きくながつてることを知り、
生き物や自然を守るために、自分たちには何ができるかを考えました。

1

学び(座学)と 感じ(体験)

地球上にやさしいお買い物の方法や
水の大切さについて、
体験的に学ぶことで、
身の回りの環境のことを
より深く考えることができました。



2

シンパシー ワークショップ

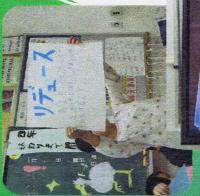
カードゲームで、
川の生き物の気持ちになって
自然について感じ、考えました。



3

エコアクション

エコについて調べて
毎日の暮らしの中で、
自分たちにも「エコ」が
できることがわかりました。



エコ宣言

